

2024
Season

明治安田 J1 LEAGUE

2024明治安田J1リーグ 第1節
@ 駅前不動産スタジアム

01



MDP

Sagantosu

MATCHDAY PROGRAM

2.24 (土)



14:00 KICK OFF

vs アルビレックス新潟

©1997 ALBIREX NIIGATA INC.

頂点へ。
指揮官は足元を見つめ、
進むべき道を示す

1年目よりも2年目、2年目よりも3年目。期待という名の重圧が高まっていることはチームを束ねる立場の指揮官が誰よりも理解している。「3年目の指揮を任せられたということは今季のサガン鳥栖をさらに上に導いてくれるだろうというクラブの期待の表れだと思っています。私自身がそれに応えなければならない」。クラブ、サポーターが寄せる期待とはやはり結果だろう。川井健太監督は今季、始動から選手たちに「勝たせられる選手」というキーワードを投げかけている。その行動は「選手に自分自身がこのチームの勝利に対して影響を与えているということを確認してほしい」という思いから生まれている。一体感をもって戦えるのが鳥栖の強みでもあるが、結果に対して選手個々の責任感、思いを強くしてもらおう。それが、指揮官が選手たちに寄せる期待だ。

過去2年間の指揮を経て、自身の考えを選手たちに植え付けることができた。だからこそ、指揮官は「内側の幹となる力が固まって崩れない強さを得た」と積み上げへの手応えを語る。そして、今季は新たに14人の選手たちがチームに加わった。「新しい選手たちが加わったことで幹の部分を大事にしながらより尖っていける」。強固な土台があるからこそ、新加入選手たちはそれぞれのキャラクターを発揮することに集中すればいい。それがチームの新たな武器になるからだ。3年目の今季、川井監督は「タイトルを獲得することがベスト」と目標を見据える。しかし、足元を見つめることも忘れてはいない。「タイトルへの意欲は常に持っています。ただ、鳥栖はまだタイトルを獲得ことがないクラブで、成功体験があるわけでもない。一步、一步、しっかりと歩んでいくことが大切だと思っています」。ここから3つのタイトルへの登山が始まる。「選手たちが『やってやるよ』と思うような雰囲気常々作ってもらえればうれしい」。サポーターへの期待とそれに応えるという責任感を胸に、指揮官は3年目のシーズンへ踏み出す。

川井 健太 監督
Kenta KAWAI

SAGA2024開催 224日前記念

～SAGA2024DAY～